



特集

外科 (消化器外科)

鼠^そ径^{けい}ヘルニアは外科へ!!



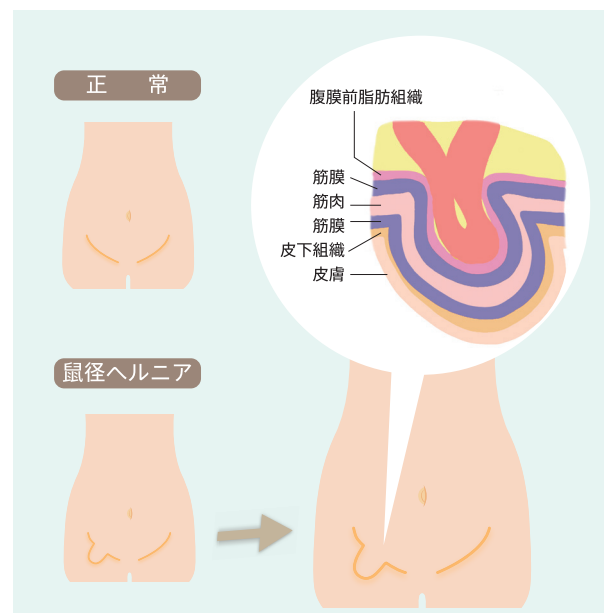
鼠径ヘルニアってどんな病気？

鼠径ヘルニアとは、足のつけ根あたりの筋肉や筋膜が弱くなった部位から、腸などの内臓物のはみ出してしまふ病気のことです。まるで袋のようなものができ、その中に腸などが入り込んでしまふイメージです。

加齢による筋肉や筋膜の衰えが主な原因で、高齢化に伴い増加している疾患です。鼠径ヘルニアは手術でしか治せません。

当院の外科ではメッシュと呼ばれる人工物を、筋肉の表面もしくは内側に固定して、筋肉の補強を行う手術を、腹腔鏡下修復術と鼠径部切開法という2つの術式で行っています。

当院では身体への負担が少なく安全な手術として確立されている腹腔鏡下修復術を積極的に取り入れており、6名の経験豊富な外科医師が手術に携わっています。



鼠径ヘルニアは身近な病気

鼠径ヘルニアは一般的にはあまり知られていませんが、年間13万人の方が治療を受けている疾患で、意外と身近な病気です。外科手術の中で最も多い手術で、当院では2023年には116件、今年に入ってからは9月までですでに76件の手術が行われています。

男性の鼠径管の構造が弱いいため女性より男性に多い病気です。

なぜ起こるの？



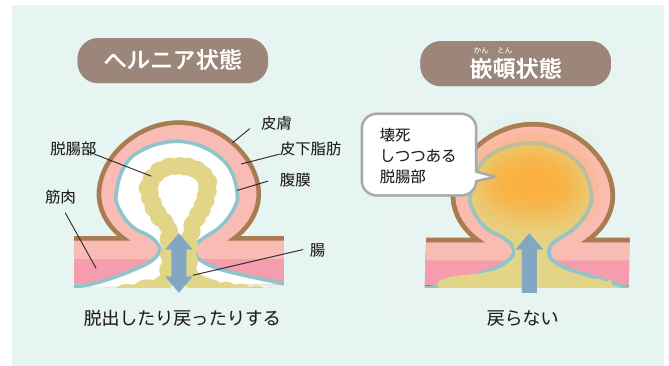
鼠径部にヘルニアが起こる原因は、大きく分けて先天的なものと後天的なものがあります。

先天的な原因

- **鼠径管の発育異常**：男性の場合、お腹の中で胎児の時に精巣が降りてくる際にできる鼠径管というトンネルが、完全に閉じていないことがあります。この未閉鎖の鼠径管から、腸などが飛び出しやすくなります。

後天的な原因

- **加齢**：年齢とともに筋肉が衰え、鼠径部が弱くなるとヘルニアが起こりやすくなります。
- **腹圧がかかること**：咳や便秘、重い物を持ち上げるなど、お腹に力を入れることで、ヘルニアが起こりやすくなります。
- **肥満**：お腹周りが太ると、内臓が圧迫され、ヘルニアが起こりやすくなります。
- **慢性的な咳**：慢性的な咳は、腹圧を慢性的に高めるため、ヘルニアのリスクを高めると言われています。



どんな症状があるの？



- **鼠径部にコブができる**：立ったり、力むと、足の付け根にコブのように膨らみができます。
- **痛み**：軽度の痛みや違和感を感じる人もいます。
- **もどらない**：飛び出した部分がなかなか戻らないこともあります。
- **嵌頓**：飛び出した腸が締め付けられ、血が通わなくなり、激しい痛みや吐き気、発熱などを伴うことがあります。これは緊急手術が必要な状態です。



放置するとどうなるの？



ヘルニアは、自然に治ることはありません。放置すると、以下のようなリスクがあります。

- **嵌頓**：腸が締め付けられ、血が通わなくなります。
- **腸閉塞**：腸が詰まってしまい、腹部全体の痛みや、腹部膨満感や便秘が起こります。
- **壊死**：締め付けられた腸が壊死し、腹膜炎を起こす可能性もあります。
- **ヘルニア囊の拡大**：放置すると、ヘルニア囊が大きくなり、手術が難しくなる場合もあります。

※ ヘルニア囊とは、腹部が伸びてきた袋状の膜

手術の種類

腹腔鏡下修復術

小さな穴3か所を用い、腹壁の内側からメッシュを敷く方法。

手術方法

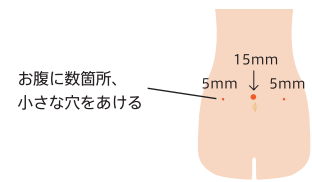
- お腹に小さな穴を複数開け、腹腔鏡と呼ばれるカメラと手術器具を挿入します。
- 腹腔鏡でヘルニアの部位を確認し、腹膜を切開してヘルニアの袋を露出させます。
- 筋肉の表面もしくは内側をメッシュで補強し、腹膜を閉じて手術を終了します。

メリット

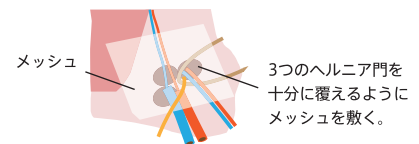
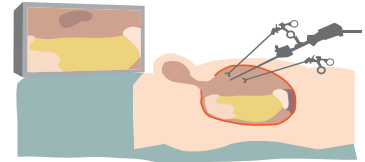
- お腹に小さな穴しか開けないことから、傷が小さく目立ちにくく、術後の痛みも比較的少ないため、早期に社会復帰することが可能です。
- 腹腔内からヘルニアがある部分を観察することができ、片側だけでなく反対側のヘルニアの手術が可能です。

デメリット

- 筋肉を覆ったメッシュが何らかの理由で開いてしまうと、小腸とメッシュが強く癒着して腸閉塞になることがあります。



全身麻酔の腹腔鏡下修復術で、臍からカメラと他に2本の5mm鉗子で行う。



鼠径部切開法

お腹を6~8cm程度切開し、皮下組織と筋肉を分けて、腸管が脱出する孔を見つけてメッシュを敷く方法。

手術方法

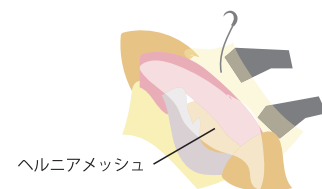
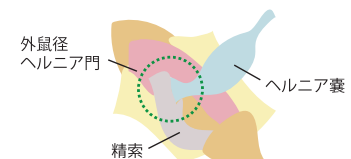
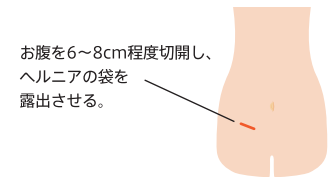
- 鼠径部の皮膚を切開し、ヘルニアの袋を露出させます。
- ヘルニアの穴に、プラグ状のメッシュを挿入して補強します。
- さらに周りの筋肉の表面に帯状のメッシュを挿入して再発の予防を行います。

メリット

- 古くから採用されている術式です。
- 局所麻酔でもできる手術であり腹腔鏡下修復術に比べて手術時間が短く済みます。

デメリット

- 鼠径部を切開するため、腹腔鏡下修復術に比べて傷が大きく目立ちやすく、術後の痛みも強い場合があります。



手術既往歴やリスクなどを考慮し、患者さん一人ひとりに合った術式をご提案します

- 鼠径部が腫れていて痛みがあったり、突っ張り感などの違和感がある
- 立った状態で鼠径部に膨らみがある。
- 腸が引っ張られるような感覚がある。

こういった症状があれば一人で悩まずに、まずはお近くのかかりつけ医にご相談いただき、当院への紹介状を作成してもらってください。



ぜひ
ご参加を！

市民医療講座のお知らせ

12月7日(土) 午前10時から正午

意外と知らない血液の病気

箕面市立病院 いろはホール

講師：血液内科主任部長 医師 畦西恭彦

「血液の病気 こんな時どうする？」

講師：外来副看護師長 がん化学療法看護認定看護師 藤田美佐緒

「家族ががんになったら？ 外来化学療法での関わり」

講師：中央検査部主任 臨床検査技師 横井梨花

「検査部バックヤードツアー 血液の病気をみつける検査」

※当院検査室の様子を写真でご覧いただくもので、実際の見学はできません。



市民医療講座について、詳しくは当院ホームページをごらんください。



お楽しみ
イベント

クリスマスコンサート

12月23日(月) 午後3時から4時

箕面市立病院 リハビリテーション棟 1階

出演：アサンプシヨ国際中学校高等学校
ハンドベル部のみなさん



放射線科

MRI 装置を更新しました

2024年4月より新しい3テスラMRIを導入しました。新たに導入した3テスラMRIは、従来型と比較して開放的な検査空間で、真空技術により検査音を低減、またAI技術により短時間かつ高画質の検査を実現します。

トンネルに入る前から映像が視界にあるため、トンネルに

入っていく感覚を軽減でき、閉所恐怖症のかたやお子さんにも安心して検査を受けていただけます。

DVDをご持参いただければMRIの中に投影もできます。



お気軽に

あゆみ文庫 (図書コーナー)

当院を受診されていたがん患者さんのご家族よりいただいたご寄付の活用により設置しました。病気や緩和ケアにまつわる本や絵本などを置いています。ぜひお気軽にお立ち寄りください。

● 平日 午前8時30分～午後5時

